

令和4年度

公益社団法人つくばみらい市シルバー人材センター事業報告書

1. 事業報告

公益社団法人つくばみらい市シルバー人材センターは、高年齢者の能力を生かした就業やその他の多様な社会参加活動を援助することなどにより、生きがいの充実と福祉の増進を図るとともに、活力ある地域社会づくりに寄与することを目的として活動してまいりました。

このような中、令和4年度の事業実績は、新型コロナウイルス感染症や請負事業から派遣事業への移行などもあり請負では減少に転じました。総事業実績については、受注件数142件減の1,535件、受注金額2,897千円増の199,778千円、就業実人員28人減の382人、就業延人員499人増の44,801人、就業率は請負11.5%減、派遣11.3%増となりました。

また会員が就業を通して多様な生きがいを持ち続けていけるよう、センターの趣旨である『自主・自立、共働・共助』の基本理念のもと、組織の充実と拡大に努めてまいりました。

表：請負（受託事業）

3月末現在

項目	令和4年度	令和3年度	増減	備考
受注件数（件）	1,459	1,601	△142	
受注金額(千円)	117,483	137,319	△19,836	
就業実人員(人)	237	284	△47	
就業延人員(人)	24,562	29,625	△5,063	
就業率（%）	58.6	70.1	△11.5	

表：派遣（一般労働者派遣事業）

3月末現在

項目	令和4年度	令和3年度	増減	備考
受注件数（件）	76	76	0	
受注金額(千円)	82,295	59,562	22,733	
就業実人員(人)	145	126	19	
就業延人員(人)	20,239	14,677	5,562	
就業率（%）	100.0	88.7	11.3	

2. 事業運営

(1) 会員の推移

令和4年度入会会員数は49名で、過去3年間における入会者数の平均53名と比較すると4名の減です。また、退会者については健康や加齢などの理由により50名の会員が退会し、過去3年間における退会者数の平均58名と比較すると8名減少して、全会員数は1名減で404名となりました。会員の平均年齢が年々上昇していることから、新規入会会員の拡大を会員・役職員が力を合わせて推進することが求められています。

表：会員数の状況

項目	令和5年 3月31日	令和4年度 入会者	令和4年度 退会者	令和4年 3月31日	増減	備考
会員数	404	49	50	405	△1	
男	286	33	28	281	5	
女	118	16	22	124	△6	

(2) 普及啓発・相談事業の推進

- ・毎月入会説明会を開催し、シルバー人材センター事業の制度や活動・就業にあたっての心構えなど、センターの趣旨理解を図りました。
- ・会報「SCつくばみらい」第34号（8月）第35号（1月）を発行しました。
- ・市広報紙による会員等の募集を6月号、10月号に掲載、また「市役所」「みらい平駅構内」他公共施設等において会員募集、受注拡大のチラシ等を設置PRに努めました。さらに茨城県シルバー人材センター連合会が作成のポスター等を関係公共機関に掲示し会員拡大に努めました。
- ・地域社会貢献活動は、センター事業が地域社会に理解と信頼を得られる継続的な活動として、みらい平駅周辺環境美化奉仕作業（ボランティア）を実施しました。

(3) 受注開拓と就業機会の拡大

- ・市内の一般家庭（みらい平、伊奈東、谷井田、秋葉山、山王新田、青木住宅、板橋一部、絹の台、西ノ台、筒戸、神生、平和台、東板橋、花田久保各地区）へ会員募集・仕事依頼チラシを作成し10月（7,118戸）、会員によるポスティングを実施しました。
- ・つくばみらい市との「空き家管理協定」に基づき、空き家の見回りや樹木の剪定、草刈りなどを実施しました。
- ・スーパー店舗補助員の労働者派遣業務の拡大推進を図りました。
- ・公共機関等については、各担当部署を訪問し受注の拡大に努めました。
- ・民間事業者と連携を図り新規就業先の拡大を推進しました。

- ・会員の就業の公平性と未就業者の解消のため、ローテーション就業やワークシェアリングを実施しました。

(4) 安全・適正就業の推進

- ・事故ゼロを目標に安全対策の推進を行い、特に重篤事故の発生防止に努めました。
- ・熱中症予防対策のリーフレットによる留意事項を7月～8月に各作業現場を対象に予防周知を推進指導しました。
- ・安全・適正就業委員会を6月、7月、11月、12月に開催し、危険性の高い屋外作業現場を対象にした安全就業パトロールの実施と安全就業意識の高揚を図り「安全は全てにおいて優先する」を推進指導しました。
- ・就業では、「適正就業ガイドライン」をもとに、発注者、会員、役職員への適正な就業の周知を図り適正就業の是正に努めました。
- ・シルバー派遣事業（一般労働者派遣事業）では、登録派遣会員数も増え、地域に密着した派遣として、つくばみらい市や民間企業等の要望に対応できたことにより、順調に業績を伸ばすことができました。
- ・会員自ら身体機能を熟知し健康保持・健康管理に努めるよう指導・助言を実施するとともに、定期的に市の健康診断などにも積極的に受診するよう啓発に努めました。

(5) 研修・講習事業

- ・茨城県シルバー人材センター連合会が主催する高齢者パソコン入門講習、刈払機取扱い技能講習に参加し、会員が就業に必要な知識や技能を習得しました。

(6) その他

- ・関係機関との連携の強化に努め事業運営の効率化を図りました。